

【稲葉山】地域の未来づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 令和5年11月14日(火) 18時00分～19時00分
- 2 場所 稲葉山地区公民館
- 3 出席者 地区16名 市9名(竹間市民生活部長、森山危機管理部長、植田危機管理課長)
- 4 テーマ 防災力向上について
- 5 概要

【地元あいさつ】

今年から新しく「地域の未来づくり懇談会」としてスタートした。本日は、市の意見を参考にしながら、地域の皆さんの意見交換を活発にさせていただきたいと考えている。

地域で懸案事項に関するアンケートを実施した結果、「防災力向上」という回答が一番多かったため、このテーマ1本に絞り当地区での開催を希望した。テーマに沿った市幹部職員の方に多数お越しいただいた。地区からは、町内会長や防災リーダーにお集まりいただいている。

台風第7号の反省や防災講習、本日の意見交換の内容を地域の今後に活かしたいと考えている。

【市民生活部長あいさつ】

地域と市が一緒になって対面で懇談会を開催するのが4年ぶりとなった。本日は皆さんのご意見を聞きながら、本市としても皆さんが安心してこの地域で暮らしていただけるようなことにつながる事ができればと思っている。地域の方と一緒に取り組を進めたいので、活発なご意見をお聞かせいただきたいと思います。

【危機管理部長】

本日は、防災力向上というテーマで意見交換をさせていただけるということで、大変貴重な機会を設けていただきお礼を申し上げます。

災害に関しては、いついかなるときでも起こる、という気持ちを持っておかななくてはならないと思っている。昨日も警報が発令をされた。最近、時期がいつだということではないような状況になっている。この度の災害に関する部分での取り組み、皆さんの行動などもしっかりお聞かせいただいて、次への改善に努めていきたいと思う。

テーマ「防災力向上について」

【地元(説明)】

《テーマの背景と理由》

地域の総合的な防災体制の整備が重要であると認識し、防災機材の拡充や防災リーダーの育成、防災体制の充実など、自主防災力向上に取り組んでいる。地域や個々の防災意識が高く、地区に多くの防災リーダーを有しており、今も5～6名が研修を受講し養成中である。

大規模災害の際に、町内自主防災会と地区防災会の連携や役割分担、防災リーダーを統括する指揮命令などが未整備のため、線状降水帯による水害を初めとした近年の災害に、現在の防災体制は脆弱ではないかと考えた。

《地域の取り組み》

今年の2月、小学校の体育館を避難場所と想定し、避難所運営ゲームハグ(HUG)を実施し、その避難所運営のあり方等について訓練を行った。防災避難施設の整備として、防災機材の拡充を行った。文化祭で防災コーナーを設け、ハグ(HUG)の写真展示や防災資機材の組み立ての実演をした。

《課題(アドバイスをお願いしたいこと)》

大規模災害に対応できる体制が未整備のため、防災体制、避難所の運営について、地区で平常時に(普段から前もって)一度検討したいと考えている。

市が把握している具体的な事例等をヒントにして、今後につなげたいと思っている。例えば、高齢者の避難とその避難所のあり方、それから災害時の防災リーダーの動きや指揮命令などの統括のあり方など、何かいい提案があればご教授いただきたい。

それから地域の、個々の、防災意識は高いが、被災経験がないため危機感が薄いと感じている。早めの避難を行うためには、防災情報、避難情報や判断基準の事例について、あわせてご教授いただきたい。

【地元】

当地区の(立川6丁目町内会は違うが、)指定緊急避難場所は小学校と、地区公民館、体育館が指定されている。

小学校は、水によく浸かるため2階以上の避難で、地区公民館、体育館は土砂災害時に不適用となっている。その中で、現在、小学校が統廃合により廃校になるのではないかという話が出ている。

小学校が廃校になった場合、指定緊急避難場所は地区公民館、体育館で対応できるのか。特に土砂災害のときは公民館に避難できない。当地区(特に立川4丁目とか山の方)には、土砂災害急傾斜地特別警戒地区と土石流特別警戒区域があるし、1,400世帯以上ある。どこに避難したらいいのか。

もし、小学校が廃校になったら、危機管理課と教育委員会で話し合いはあるのか。1,400世帯以上あるから、ここは廃校にしたらいかんと欲してもらいたい。

【危機管理課】

それぞれ避難所には、想定される避難者人数はある。仮にそれを超えるようであれば、その施設では収容できないということは生じると思う。

ただ、今、呼びかけているのは「分散避難」で、市の開設避難所以外に、お知り合いや親戚の安全なお宅に避難するとか、当地区外の避難所に避難するとかを合わせながら検討していくことになると思う。

当地区の小学校がどうなるかは情報を得ていないので検討していないが、もし仮に廃校になっても、引き続き市の施設として存続するようであれば活用できるが、無くなった場合は、いろいろな方法を地域の方とも考えながら、避難所のあり方、民間も含めて考えていきたいと思う。

【地元】

統廃合については、以前にも町内会長にご説明したが、20年後に、市立小・中学校の生徒が減るということで、市教育委員会から、五つのブロックにわかれて検討していきましょうという提案がされた。これについては、今、各学校のPTAが主体となって、当地区は「小学校を良くする会」を立ち上げた。また、地域にお願いすることがあればご協力いただきたいし、先ほどのようなご意見は、教育委員会へ話をすることとして、統廃合は喫緊ではないので誤解のないようお願いする。

数年前の7月に大雨で高齢者等避難がテロップで出た。水に浸かる可能性もあるし冷暖房が効くということで、小学校は、体育館ではなく2階の多目的室を避難所にした。実際に4~5名が泊まられたが、階段を上ったり、車椅子の方は人力で上げたりした。併せて、教育委員会へ小学校のバリアフリー化等を地区で要望することは、別途考えているので誤解のないようお願いする。

【地元】

大規模災害を想定して、また、先日や3年前の雨の際の体制をもう少し実務的にやるのがいいのかなと思うがどうか。施設として、避難所としての人数はどの程度まで対応したらいいのか。

【地元】

先日、小学校から、洪水被害で避難する場所である小学校が遊水地の指定になっていると聞いた。この遊水地は解除してもらいたい。

【地元】

子どものときから遊水地だと聞いている。大雨で川がなくなったら小学校に水が流れて、他の住宅に流れないようにしていると。

【地元】

大きな暗渠が入っていて、校庭に溜まった水を暗渠から天神川に流すと聞いたことがある。溜めるというのではなく、要は排水するという事。それがいいのかどうか、それにより小学校が避難所になるかならないかはわからない。

【危機管理課】

避難所については、やはり人数的なことがある。例えば、今般の台風とか、令和3年7月の大雨とか、指定緊急避難場所として、命を守るための短期間の避難であれば、ある程度少し狭いながらも、定員に近いぐらいの人数やそれより多くても収容するという事も発生するかもしれない。一方で、東日本大震災のように、避難が長期化し、生活を避難所とする場合は、ある程度生活用具も必要になるので、また違ってくると思う。

いずれにしても、避難をしていただくための避難所は必要と思う。場合によっては、地域の中に協力いただけるような民間施設とか、安全な場所に町内会集会所があれば、避難所としてご活用いただくことも避難所の混雑緩和になると考える。もし、地域の中に活用できるところがあればご活用いただきたいと思う。

小学校は道路より一段低いところに地盤があると承知しているので、おのずと川が氾濫したら水が溜まりやすい立地だと思う。

【危機管理課】

学校から遊水地と聞いたとのことなので、そこは確認をさせていただく。

水が出て避難するという場合、地域の方にとって小学校は、そこに向かうという気持ちにならないような場所か。

【地元】

小学校は、伊勢湾台風の時1階の黒板の半分まで水に浸かっているから、地域の方はそういう意味ではあまり信頼はしてない。

【地元】

小学校ができた昭和27年の大雨で、天神川の水が堤防を越えて浸かった。当時は木造で、床が

浮き上がった記憶がある。その後も1〜2回あったと思う。田んぼが住宅地になるとき、河川改修をされ、最近では天神川の土手を越えることはない。

【危機管理課】

総合防災マップで、小学校の想定最大浸水深がわかる。2階以上に水は来ないため、そこまで行ける状況の中で、今命を守らないと、というときは逃げ込んでいただければ、市も確認をしながら指定するので、水に関しては大丈夫かと思う。市の職員も避難所運営をさせていただく。今までの経験や状況からすると、水が引くのに1日中はないと思うが、これからはわからない。

ただ、大半の皆さんの意識や気持ちが、とてもそこへは行きにくいということであれば、どこが一番適切なのか、しっかりとまた検討や意見交換をさせていただければと思う。

当地区のような大きな地域では、どこの避難所にとよく言われるが、鳥取市中を考えると20万人弱から人がいて、全てをその避難所に収容することはまずできない。これは、できないことははっきり申し上げておきたいと思う。

この度、緊急安全確保を出させていただいた。皆さんは何をしなければいけないのか。それは、身の安全を守ること。

防災マップにあったように、2階以上が安全で自分の家が流されないとしたら、まず2階にいれば大丈夫なので、これも選択肢になると思う。心細いし、みんなと一緒に寄り合っただけということであれば、例えばここの公民館の2階、地域の集会所も2階以上であったら、そこにちょっと身を寄せるといっても選択肢になるかと思う。いろいろな選択肢を考えておく必要があると思う。

本市としては、公共施設を中心に、避難情報はその都度出させていただくが、市がここにと行ったからということではなく、自分の周囲でどこが一番安全かということをもつ1つ1つ地域の中で話をしていただく。そういう活動・行動が非常に大切だと思うし、そういうことをぜひお願いしたいと考えている。地域の中で話をするときには、本課防災コーディネーターも入って一緒にお話をさせていただき、物事を仕上げていくというようなことが求められるかなと思っている。

【地元】

当地区は、土砂崩れが非常に危険だと考える。山側の方が避難する可能性が高く、大雨のときに川を渡ってこちらに避難することになる。避難経路(道)が非常に脆弱で細くて、大雨で周辺が溢れたら、まずこちらに来るのが大変だと思う。

当地域だけで考えているが、大災害のときは隣の地域にも、当然行っていいと思うがどうか。もう少し広い範囲でやってもいいかなと考える。

【危機管理課】

本市では、災害が起きそうだというときには、まず自主避難所を開設している。例えば若葉台とか、浜坂とか、そこはその地域の方しか行けないのではなく、そこが安全だから本市も指定するのでどの地域から行っても大丈夫ということ。

当該地区の方以外は受け入れないということはない。各地域には、他の地域から逃げてきた方も受け入れてほしいと思うし、どこでなければということはない。

いずれにしても、ここでということではなく、今一番安全なのはどこかを考えていただきたい。外に出ることが安全なのか、どう行動に結びつけていくのかなどそういうことを一緒に考えていければと思っている。

【地元】

この前の台風第7号のとき、大きな声で「緊急避難」と出て、避難したいけどどうしたらいいかと町内から5件の問い合わせがあった。

用水路が溢れてしまったら、特に高齢者は足を取られるから、一時避難場所として町内にある県営住宅に行けと。ただし、援助物資は来ないから、落ち着いたら2次避難場所に行けばいいと話している。

民間施設を利用しないと、避難所だけでは物理的に収容が無理なのはわかっている。だから、その辺を行政としてもう少し具体的に周知されたらどうか。

【危機管理課】

台風第7号のとき、気象台が特別警報を出し、これに基づいて本市は「緊急安全確保」を出した。

防災マップの中に、「緊急安全確保」とは、「災害が発生または切迫し、命が危険」という状態で、「危険な区域から避難できていない方は、山や窓から離れたり高い場所へ移動するなど、少しでも安全が確保できるよう命を守る行動をしてください」と書かれている。

この度、市は皆さんに「身を守る安全な行動」を取っていただきたかったが、どこに逃げたらいいか、安全な場所はということで、たくさんの方に逃げていただいた。その行動が間違いとは言わないが、果たして外に出ることが安全なのかどうかと考える必要があると思う。

全国でも道路が30cmでも水に浸かっていたら、側溝や用水路に踏み込んで流される事例がある。したがって、2階があれば2階にいるのが一番近道で安全だし、家の中に物資や食料も確保できるということにもなる。それよりも前に、逃げられる人は逃げて行ってほしいと思う。

ただ、この度の緊急安全確保は、言われたように突然だった。気象台が、大雨特別警報をばんと出したので、市としては分析する間もなく、緊急安全確保を出さないと皆さんの命に関わる状態がどこで起こっているかわからないということで出させていただいた。

実は、本市の災害対策室では、雨の状況とか土砂の状況とかを全部つぶさに見ながら、どこが安全なのか、どこが危険なのかということを経験や国・県ともやり取りしながら、河原とか、福部とか定めて、必要などころに避難情報を出させてもらっていた。そういうことをしているが、この度の緊急安全確保は出さなければいけない状況で、やむなく出させてもらった。

放送に、驚かれた方もたくさんあったし、怖かったという声もたくさん聞いた。でも、そういう状態だったということを実感していただけたことは効果があったと思う。

今は、放送が流れたときにどう行動すればいいかをどう結び付けていくかが課題だと思っている。皆さんと一緒に知識を深め、行動に結びつけることをどういうふうに行うか、考えていくかが、今、危機管理課の命題だと思う。

皆さんは、この緊急安全確保が出たときどうだったでしょうか。

【地元】

防災ラジオで結構大きな声で「すぐ避難せよ」とか言われたら、何かどこか行かないといけないのかな、ということになると思う。全戸配布の総合防災マップに書いてあると言われるが、はっきり言って皆そんなに見ていないと思う。

皆さん驚かれるし、もうちょっと落ち着いた声で放送してもらいたい。

一番危険なレベル5のときは、全市域が避難せよというのが出てもいいと思うが、レベル3のときも最初に「すぐ避難せよ」という言葉が出る。「どこの地区のどこに避難指示が出たからすぐ避難してください」というような言葉で発していただければ、よくわかっていいなと思う。最初に「す

ぐ避難せよ」と言われたら、もう、発令された地区以外のところもびっくりする。

【危機管理課】

放送内容についても、いろいろな意見をいただいている。やはり聞いて「怖い」もあったし、「これ本気にならないと」とより高いところへ逃げたというパターンもあった。そういった行動をとっていただくために、敢えてさせてもらっている。

防災マップに書いてあることを、しっかりと普段の行動に結びつけていくようなことを、本課としても頑張らせてさせていただきたい。本市の願いとしては、各地域や自主防災会の皆さんにも、訓練の中で多くの方に集まっていただいて、そのことを説明させていただきたいと思う。

この緊急安全確保を全市的に出したのは本市でも初めてのことで、驚かれたというのは最もだと思う。しっかりとそこは受け止めさせていただきたい。

実際の放送は、高齢者等避難とか、避難指示のときには、「何々地域でどういったようなことが理由で今避難をすべきときですよ」というようなことを落ち着いた声で言うようにしているが、声とか音とかは一度、聞き逃すともうわからない。

先ほど、「鳥取市からのお知らせです」と携帯から防災アプリが鳴りました。明日の訓練の放送が入っていると思うので、ぜひ、地域の皆さんにも、防災アプリを入れていただきたい。その中に、今どんな情報が入っているのかどんなことになるのか、つぶさにでてくる。他の地域でも、ひょっとしたらこちらにも(水が)流れてくるかもしれないと思う。これはお願いだが、避難情報が出たときには、家で持って出るものがあるかなとか、誰がどこにいるかなとか、そういう部分もやはり気をつけていくべきタイミングであると、ぜひ認知していただければと思う。

【地元】

今、うちの町内も避難所運営ゲームハグ(HUG)とか盛んにやっているが、避難所が開いているという前提になっている。大規模災害が起きたときは、市職員も被災されていると思う。地震であれば、道や建物の倒壊で避難所までたどりつけないといった状態が想定される。そのような中で、誰が避難所を開設するのかが必ず問題になってくると思う。市職員が来られるまで待てない、本当に来るかわからない、住民が開けなければというときに、誰が鍵を持っているのかわからない。このときに、窓ガラス破って鍵を開けるしかないかなと話題になるが、建物を壊してでも中に入る行動は正しい行動なのか教えていただきたい。

【危機管理課】

警戒レベル5になって、今まさに水がそこに来ていて自分の命がというときに、窓を破って入るとするのは正しい行動と考える。判断しづらい部分もあるが、市も来るようだし、全然まだ平穏だなというときに、窓を破って入ってくださいというわけにはならないと思う。

この度の緊急安全確保で、避難をしていくことが必ずしも正しいかは判断しないといけないし、避難所開設したら、逃げている途中で何かあったらとも考える必要がある。開設が遅かったというのもそこに起因する。

各自主防災会の会長から、学校の鍵の受け渡しとか、何とか柔軟にならないか、地域の方に預けられないかという話も出た。学校施設は、機密保持とか、プライバシーの問題がある。日頃から地域に鍵を持っていただくことはなかなか難しいというのが現状だが、いざとなったときに受け渡しができないか今研究をしている。

【地元】

それはルールとしてか。ぜひお願いします。

【危機管理課】

来年の出水期までには、何らかの形にならないかと、ルールとしてできないだろうかと教育委員会とも話をさせていただいている。そのときには、地域にもご協力をお願いしなければならないがしばらくお待ちいただければと思う。

【地元】

今、水害ばかり出ている。地震のことが全然出てこない。当地区は、地震のときの避難場所は公民館1か所しかない。これから先、地震がないとも限らない。

【地元】

今、小学校は地震に対応してないと言われたが、防災マップでは対応となっているようだ。

【危機管理課】

事前に、地震が来るからそこに逃げようということにはならないので、地震のときは、地震が起こってから行く場所になると思う。被災時に崩れていたら、もちろん逃げようもない。ただ、今、小・中学校の耐震化を進めていて、どのマップを見られたかわからないが、全戸配布している防災マップの中で、小学校は地震には適用性があるとなっている。これは、教育委員会等とも確認をしながら指定しているので、地震に適用性があるということは、耐震補強なり耐震性があると判断している。本市としてはそう捉えている。

(小学校が地震に適用性がない、指定されていないというのが)いつの時点の情報かわからないので、どこでその情報を確認されたか後で詳しくお聞かせいただき、皆さんが誤解されないようこちらとしても確認していきたい。

【地元】

今日はあくまできっかけであり、スタートと考えている。もし、それぞれで課題があったら直接、危機管理課に相談に行くこともできるし、地区の方で今後いろいろな課題が出てきたら、その中で相談していきたいと思っている。よろしくお願いします。

【市民生活部長】

本日は、貴重な時間をいただきお礼を申し上げる。危機管理部局においては、今後に向けて参考になるご意見を多々いただき、地域の安全を守るということで、引き続き、地域と市が一緒になって取り組ませていただけたらと思う。普段でも気づかれたことがあれば、懇談会に限らず協働推進課の方に個別にご意見いただければと思う。